(別紙②)

秋田県営玉川園地駐車場管理業務仕様書

指定管理者は、秋田県営玉川園地駐車場（以下「駐車場」という。）の管理業務を行うにあたり、秋田県営自然公園施設条例（昭和53年秋田県条例第5号、以下「公園施設条例」という。）、秋田県営自然公園施設管理規則（昭和53年秋田県規則第19号、以下「管理規則」という。）及び秋田県営玉川園地駐車場の管理に関する基本協定書（以下「基本協定書」という。）に定められる事項によるほか、本仕様書の次の事項に従い業務を行うものとする。

1 基本的事項

- (1) 公園施設条例に定める目的達成のために効果的な管理業務を行うこと。
- (2) 利用者が快適に利用できるように配慮し管理業務を行うこと。
- (3) 駐車場は十和田八幡平国立公園内に立地しているため、自然公園法等の自然公園関係法令を遵守して管理業務を行うこと。
- (4) 管理業務の実施にあたっては、労働基準法（昭和22年法律第49号）をはじめとした労働関係法令を遵守し、必要な実施体制を確保すること。

2 施設及び設備の内容

- (1) 秋田県営玉川園地駐車場
- (2) 秋田県営玉川園地駐車場付設階段（駐車場脇から仙北市道までの階段）
- (3) 玉川温泉歩道（秋田県営玉川温泉ビジターセンターから玉川温泉までの遊歩道）

3 管理業務の内容

- (1) 秋田県営玉川園地駐車場の使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務
- (2) 2の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) その他玉川地区の利用の適正化に関する業務

4 管理業務に従事する職員の配置等

(1) 配置基準人数

3の管理業務を実施するために最低限配置しなければならない職員の基準は次のとおりとする。ただし、気象状況（風雨、降雪等）による道路閉鎖等により駐車台数が大きく減少することが見込まれる場合は、県との協議により、配置基準人数を減ずることができるものとする。

- ① 土日、休日以外の日 2人
- ② 土日、休日 3人
- ③ 5の(1)①に規定する混雑が見込まれる日として知事が指定する日 3人

(2) 職員であることの明示

指定管理者は、本管理業務に従事する職員に腕章その他のものを身に付けさせ、対外的に職員であると識別できるようにしなければならない。

5 秋田県営玉川園地駐車場の管理業務

(1) 駐車場の使用期間及び使用時間

- ① 駐車場の使用期間及び使用時間

駐車場の使用期間及び使用時間（以下「使用期間等」という。）は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て、上記に定めた使用期間等を変更することができる。

使用期間	使用時間
4月28日～5月31日	午前8時～午後5時
6月1日～8月31日	午前8時～午後6時
9月1日～11月4日	午前8時～午後5時
上記の日のうち、特に駐車場の混雑が見込まれる日として知事が指定する日（※）	指定する日が含まれる使用期間の使用時間終了時刻に同じ

※ 特に駐車場の混雑が見込まれる日として知事が指定する日は、当該年度の駐車場の利用開始前までの間に、指定管理者が次の期間の中から20日から30日程度を指定し、県の承認を受け、毎年決定する。

- ・ 4月下旬から5月上旬までのゴールデンウィーク期間中
- ・ 8月中旬のお盆期間中
- ・ 9月中旬から10月下旬までの秋の紅葉シーズン期間中
- ・ その他の期間で、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条の規定による国民の祝日（以下「土日、祝日」という。）が連続する日を含む期間

② 臨機の措置

臨機の措置として指定管理者が特に必要があると認めるときは、知事の承認を得ることなく、使用期間等を変更することができる。

③ 使用期間等の掲示及び周知

指定管理者は、使用期間等を定め、若しくは変更し、又は臨機に変更するときは、その旨を駐車場入口その他公衆の見やすい場所に掲示するほか、必要な周知に努めること。臨機の措置として使用期間等を変更した場合は速やかに県に報告すること。

(2) 駐車場の利用料金の設定

① 利用料金の承認

利用料金は、公園施設条例に定める額を基準として指定管理者があらかじめ知事の承認を受けて定めるものとする。これを変更するときも同様とする。

② 利用料金の掲示

承認された利用料金は、駐車場の入口、その他公衆の見やすい場所に掲示すること。

③ 利用料金の減免

利用料金の減免は、身分証明書、手帳その他これらに類するものを確認のうえ、次の基準により行うものとする。

ア 人命救助、災害防止等のため奉仕活動をする者 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が行う野外活動に参加する児童及びその引率者 2分の1の額

ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第4条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者、知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）の理念に則り都道府県知事等が交付する療養手帳の交付を受けた者、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条の目的により精神障害者福祉手帳の交付を受けた者又はその者らを同乗させる者 2分の1の額

エ その他駐車場の管理等のため指定管理者が特に必要と認めた者 全額

④ 利用料金の還付

指定管理者は、使用者の責めに帰することができない理由により駐車場を使用することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は利用料金を使用者に還付するものとする。

(3) 駐車場の使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務

① 使用の許可

公園施設条例第3条の規定により駐車場の使用を許可するときは、それを証する書面を使用する者に対し交付すること。

② 使用の許可の取消し等

駐車場の使用の許可を受けた者が駐車場で次に該当する行為を行ったときは、当該行為を中止するよう指示し、その者がその指示に従わないときは、公園施設条例第4条の規定により使用の許可の取消しを行うこと。

ア 1台で2区画以上を使用する行為

イ 場所取り行為、他区画への駐車を妨げる行為

ウ 特定の場所を占拠する行為

エ テント・シート類の設置や展開する行為（ただし、軽易なものは除く。）

オ 周辺での用便や廃棄物を投棄する行為

カ 物品の販売等の営業行為

キ テーブルやイスなどを用いたキャンプに類した行為（ただし、軽易なものは除く。）

ク 車外での飲食行為（ただし、軽易なものは除く。）

③ 駐車の拒否

駐車場を使用しようとする者が次に該当する場合には、管理規則第4条の規定により駐車場の使用を拒否すること。

ア 駐車場を使用する車両の規模が次の基準を超えるとき

車長5.3m、車幅2.0m

ただし、公園利用者が搭乗した車両の規模基準を超えるバスが一時的に搭乗者を乗降させるために利用するときを除く。

イ 発火性又は引火性を有する物品、その他危険な物品が車両に積載されているとき

ウ 駐車場の施設をき損し、又は汚損するおそれがあるとき

エ 駐車場の構造上駐車させることが不相当と認められるとき

オ 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき

カ その他駐車場の管理上支障があると認められるとき

④ 警察への通報及び県への報告

駐車場の使用の許可の取消し又は駐車を拒否した場合において、駐車場を使用しようとする者がその決定に従わないときは、指定管理者は車両登録番号その他の情報を記録し、警察署に通報するとともに、県に報告するものとする。

6 施設及び設備の維持管理に関する業務

(1) 駐車場の開設準備に関する事項

9に規定する駐車場の使用期間の開始前に行う開設準備は次のとおりとする。開設準備は、③及び④のただし書きに該当する場合を除き、使用期間の前日の4月27日までに終了すること。

① 入出場管理詰所の設置

管理業務に従事する職員が使用するものとして、次の規模等の仮設工作物1棟を、風雨による被害等が生じないような措置を講じて、自らの費用により手配及び設置すること。

ア 屋根の形状 切妻屋根

イ 屋根及び外壁の色彩 こげ茶色

ウ 規模 長さ：4.5m 幅：2.3m 高さ：3.2m 程度

② 除雪作業の実施

駐車場の開設にあたり残雪がある場合は、駐車場の残雪の除雪及び排雪を行うこと。

③ 秋田県営玉川園地駐車場付設階段へのロープ柵の設置

秋田県営玉川園地駐車場付設階段に次のロープ柵を設置すること。ただし、当該階段に残雪があり通行できないときは、通行禁止の看板を掲示し融雪後に速やかに実施するものとする。

延長：27.5m 擬木柱：30本

④ 玉川温泉歩道へのロープ柵の設置等

玉川温泉歩道に次のロープ柵を設置するとともに。玉川温泉歩道の出入口に設置した通行禁止の看板を撤去し、県が指示する場所に保管すること。ただし、当該歩道に残雪があり通行できないときは、融雪後に速やかに実施するものとする。

延長：111.0m 薬注入スギ材柱：79本

⑤ 利用案内看板の設置

駐車場の利用案内や入出場を誘導するための仮設看板を設置すること。

(2) 使用期間中における維持管理に関する事項

① 駐車場出入口の解錠及び施錠

ア 出入口の解錠は、使用時間開始時刻に合わせて行うこと。

イ 使用時間終了時刻の15分前には、施錠する時間を口頭で使用者に呼びかけるとともに、新たな車両を入場させないようにすること。

ウ 出入口の施錠は、使用時間終了時刻になり次第、駐車している車両がないことを確認の上、行うこと。

エ 施錠に際し、退場に応じない車両又は駐車中の車両があるときは次により対応すること。

(ア) 周囲に運転手がいる場合は、退場するよう指導すること。

(イ) 周囲に運転手がない場合においては、施錠時の居残り時間が1日目の場合は1日目の夕方に指導チラシに車両登録番号、車種名、色と指導日時を記入し、フロントガラスのワイパーに挟むこと。

2日目以降も引き続き駐車している場合は県に状況を報告し、指示を受けること。

オ 使用時間外における緊急解錠時に対応できる体制を整備すること。

② 駐車場の維持管理に関する事項

ア 利用者が快適に利用できるよう施設及び設備の清掃を適宜行うこと。

イ 施設及び設備に破損等が認められたときは、速やかに県に報告すること。

ウ 駐車台数、利用料金、混雑の状況等の管理業務を記録した日誌を作成すること。

(3) 駐車場の閉鎖準備に関する事項

5に規定する駐車場の使用期間後に行う閉鎖作業は次のとおりとする。閉鎖準備は、11月4日の使用時刻終了後以降速やかに行うこと。

① 入出場管理詰所の撤去

設置した入出場管理詰所を撤去すること。

- ② 除雪作業に備えた措置
翌年の使用期間前に行う除雪作業の際に、駐車場をき損等しないよう必要な目印を設置するなどの措置を講じること。
 - ③ 秋田県営玉川園地駐車場付設階段のロープ柵の撤去
駐車場脇から市道までの階段に設置したロープ柵を撤去し、県が指示する場所に保管すること。
 - ④ 玉川温泉歩道へのロープ柵の撤去等
玉川温泉歩道に設置したロープ柵を撤去し、県が指示する場所に保管するとともに、玉川温泉歩道の出入口に通行禁止の看板を設置すること。
 - ⑤ 利用案内看板の撤去
設置した仮設看板を撤去し、県が指示する場所に保管すること。
- (4) 使用期間外における施設及び設備の維持管理に関する事項
使用期間外における自然災害等により施設及び設備への影響が懸念される場合は、関係機関と連携して必要な情報収集を行い、県に速やかに報告すること。

7 その他玉川地区の利用の適正化に関する業務

(1) 利用案内に関する事項

① 周辺道路の混雑解消の取り組み

駐車場への入場待ちに起因し周辺道路の混雑が見込まれるときは道路の交通整理を行うとともに、秋田県営玉川温泉ビジターセンター駐車場等の他の駐車場の位置等を記した玉川地区周辺の案内図を作成し案内又は誘導を行うこと。

② 玉川地区の利用の適正化に向けた取り組み

玉川地区の利用の適正化を図るため、5(1)の駐車場の使用許可に関する書面の配布とあわせ、玉川地区の利用にあたっての注意事項を記載した書面を作成し、適宜配布すること。

③ 要望や苦情への対応

玉川地区に関する要望や苦情については、国、県、市町村及び温泉事業者等の関係機関と連携のうえ、適切に対応すること。

(2) 関係機関との協力

国、県及び市町村等が実施又は要請する事業への支援・協力を行うこと。

(3) 事故等、緊急時の対応

① 火災、犯罪等の緊急事態が発生した場合は、生命の安全確保を最優先とし、傷病者の応急手当を施すとともに、被害が拡大しないよう立入制限などを行い、県に一報をいれること。必要に応じ、警察・消防等の関係機関に速やかに通報し、その指示に従うこと。火災については、可能な範囲で初期消火に努めること。

② 集中豪雨、台風などの自然災害による警報発令時には、利用客に情報提供を行い、避難を促すこと。施設や周辺道路等への影響が見込まれる場合は、県に一報をいれるとともに、利用者を避難させ、利用客の避難の確認後、従業員も避難すること。

③ 地震や火山活動等の大規模な自然災害が発生した場合は、生命の安全確保を最優先とし、傷病者の応急手当を施すとともに、県に一報をいれること。利用者を避難させ、利用客の避難の確認後、従業員も避難すること。

(4) その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度県と協議すること。